至宇奈月温泉／黒部市
２月、1年間の山仕事の安全と山資源の繁栄を祈願する祭りが行われる。
神社の宮司さんとお寺の住職さんが一緒に祈りを捧げる、神仏混交の珍しい祭り。
山を閉じる11月にも山への感謝をこめて行われる。
黒部川
愛本橋
黒東合口用水
黒部川扇状地の扇頂部は愛本（あいもと・標高130m）。これより黒部川右岸約10kmにわたる河岸段丘のことを、地元では『ハバ』と呼んでいる。
この地域には『ハバ』の低落差を利用した発電所もある。
墓ノ木自然公園
負釣山
959
舟川ダム
法福寺
愛本
ハバ
流水客土採土地
どやまらんど明日キャンプ場
第2流水客土採土地
250
山神社
200
3 御前林
旧北陸上街道
流水客土水路跡
風野遺跡
黒東合口用水
地蔵堂
舟川
足湯
10
宿泊・入浴
バーデン明日（あけび）
10
10
ふれあい温泉
春は新緑、秋は紅葉、冬はスノーシューや山スキーなど、四季を通して散策を楽しむことができる。
1 中尾山十三寺
枡形 2
西養寺
5 高札
150
7 念興寺
ビューポイント！
負釣山登山口
谷江堤
藤保内神社 6
200
愛本新用水の完成によって、舟見野の開墾が進むと藩主治脩の恩を忘れぬように、また水神として崇めるのに御小屋の跡地に天満宮を建て「たいまつ祭」を行うようになった。
毎年10月5日の夜、村人たちは大松明を灯して村内を練り歩き、治脩公と水への感謝の気持ちを捧げる。
クライミングジム FCSウォール
8
舟見城址館・山の本陣
森林浴
WC
駐在所
舟見本陣跡と里程標 4
脇坂醫院跡
252
舟見山自然公園
切妻屋根の街並み
郵便局
140
至浦山新
光泉寺
GS
舟見交流センター
雲龍寺
西尾醤油
ビューポイント！
山並みがキレイです。
200
150
熊坂トンネル
花房堤
御小屋の宮（天満宮）
愛本新遺跡
9 地蔵堂
江戸時代、北陸街道は海側にあった。しかし川を渡る難所が多く、三日市から浦山、愛本、舟見、泊に至る上街道が整備された。宿場となった舟見には、豪雪でも道路に雪がつもりにくい『切妻屋根』の家々が多く、今も当時の面影が残っている。
←棚山ゴルフ
あいば食品
七区公民館
ひばり野保育所
ひばり野小学校
下山芸術の森発電所
美術館正面へ→
コンビニ
エクセル
小森水神社
展望塔へ↓
スーパー農道
ふれあい温泉
そば好　火曜定休
営業11:00～14:00
あいば食品
富山の特産品販売
日曜定休
至朝日町
羽黒神社
舟見七区
小森水
愛本新
至泊
至入善
GS

1 中尾山十三寺　北陸33カ所霊場巡り札所

十三寺には、千手観音、聖観音、馬頭観音の3体の菩薩像があり、富山県の有形文化財に指定されている。本尊の千手観音は11面42臂で、京都・清水寺と同じ形式の仏像。清水寺信仰が越中に及んでいたことを示す貴重なものである。
3体とも平安時代の作といわれる秘仏で、7年ごとに行われる御開帳には近郷近在から多くの老若男女が詣でる。
境内には松尾芭蕉の句碑などもある。

2 枡形　ただの曲がり角ではありません!

宿場町には枡形と呼ばれる道路が整備された。
上街道の愛本から直進して舟見宿に入らず、宿の入り口で一旦直角に折れて舟見の街並みに入っていた。外敵が侵入しにくいようにしたもので、枡形の原型が残っているのは全国的にも珍しい。

3 御前林　旅人や大名行列を見守った黒松

加賀藩時代、街道沿いに植えられた松並木は往還松、丁松ともいわれるが、舟見のものは御前林といわれた。かつてはかなりの数の松があったが、現在は1本のみ残り、旧街道の面影をしのぶことができる。

4 舟見本陣跡と里程標　今も昔も道しるべです

江戸時代、北陸上街道に愛本橋がかけられた後、宿駅となった舟見宿には、大名や幕府役人などが休泊する本陣が置かれ、野島家や脇坂家が本陣を務めた。
また、本陣跡には明治政府が設置した里程標がある。近代国家を目指す政府は、全国各地の宿駅に里程標を設置し、旅の便を図るように指示した。

■名称	■TEL
バーデン明日(宿泊・入浴)	0765−78−2525
舟見ふれあい温泉(入浴)	0765−78−2080
舟見城址館・山の本陣	0765−78−2730
下山芸術の森発電所美術館	0765−78−0621
墓ノ木自然公園キャンプ場(役場)	0765−72−1100
負釣山(役場)	0765−72−1100
舟見交流センター	0765−78−1350

5 高札　人々への周知徹底に使われていました

高札とは、幕府や藩の決まり事などを書いて、交通の多い市場や辻に建てた板札で舟見、入膳、横山には高札場があった。
この札は、明治政府が出したもので、五倫を勧め、殺人や盗みなどを戒めている。

6 藤保内神社

舟見の中心部にある当神社は、昔、藤峯の地に五神を祀ったのが始まりで、その後現在の宮本の地に移った。本殿は平成3年9月の台風19号により倒壊したが氏子をはじめ、町内外の人々の浄財によって再建された。
入善町有形文化財に指定されている本殿、神輿がある。

7 念興寺のサクラ　ひっそりたたずむ桜の名所

平成25年、新種の桜が発見され、「越の福かさね」と命名された。

この桜は、5枚の一重咲きと、八重咲きが混在し、散りにくいのが特徴で春と秋の2度咲く。

8 舟見山・舟見城址館・山の本陣　眺めが最高～!

舟見城の史実上の築城は定かではなく、宮崎城主太郎の嫡子である「入善小太郎舟見城を構築する」の伝承より、源平合戦（1183年）から承久（1221年）の頃と推定される。弘治年間（1555～1578年）上杉謙信が攻め入った時に、当時の城主飛騨守五郎左近尉は防戦したが敗れ、黒部川断崖より飛び降りたといわれる飛騨ガ淵は今も現存する。
狐平といわれる山頂には、現代建築の「舟見城址館」と藁ぶき屋根の「山の本陣」があり見学が可能。前方には黒部川扇状地や富山湾が、後方には、北アルプスの峰々が眺望できる。5月ごろ、水田に映える夕日と散居村の織りなす景観は素晴らしい。

入善町観光物産協会2016.8

■舟見までのアクセス

【北陸自動車道】	黒部IC、入善スマートICより　車で約15分
【北陸新幹線】	黒部宇奈月温泉駅より　車で約15分
【あいの風とやま鉄道】	黒部駅、入善駅、泊駅より　車で約20分
【富山地方鉄道】	愛本駅より　車で5分
【富山きときと空港】	空港より　車で約60分
【入善町営バス のらんマイ・カー】	入善駅より約30分

富山県入善町

北陸上街道 ひばり野 舟見宿 ぶらり旅

愛本橋
1.8 Km
御前林
500 m
十三寺・枡形
260 m
藤保内神社
200 m
舟見本陣跡
1.2 Km
バーデン明日
1.7 Km
舟見城址館
2.2 Km
負釣山登山口
2.2 Km
負釣山
3.2 Km
舟川ダム

ジャンボ〜ル三世

入善観光情報ウェブサイト
にゅうぜんマニア 検索

舟見宿めぐり

9 地蔵堂（じぞうどう） 路傍にみる 今も昔も変わらない思い

庚申塚ともいうが、舟見には上町と下町の2か所にある。村落の入り口に、道祖神などの他の石塔（または石碑）と一緒に村の守り神として置かれている。

10 舟見の湯（ふなみのゆ） バーデン明日（あけび）・ふれあい温泉（おんせん）

近くから湧出する天然温泉をふんだんに使用。四季を彩る自然を眺めながらの入浴は格別なものがある。湯はナトリウム炭酸水素塩・塩化物泉で、肌がつるつるになると県内外から多くの人が訪れる。

負釣山（おいつるしやま） 入善町の最高峰!

富山の山百選に指定されている標高959.3メートルの山である。登ること2時間、頂上からの黒部川扇状地の眺望は素晴らしい。「富山の百山」に選定され、トレッキングにも人気がある。

舟川ダム（ふながわダム） 人間の英知と大自然の調和がおりなす構造美!

洪水対策と農業用水の供給、消雪用水の確保など、県営の多目的ダムとして平成24年8月に竣工した。四季折々の山々の景観とともに、ダムの構造美を楽しむことができる。

舟見七夕祭り（ふなみたなばたまつり） 1年かけて手作りした飾りがスゴイ!

伝統行事として古くから伝わる舟見七夕祭りは7月6日〜7日に行われる。
舟見の七夕の由来は、織姫伝説や七夕神への祈りの行事として行われるほか、江戸時代に参勤交代の藩主や行き交う旅人などを慰めるために始まったとも言われている。
6日は手作り短冊飾りの中を駆け抜ける「七夕マラソン」が行われ、夜には花火が打ち上げられ、露天商が並ぶ町なかは人々で賑わう。

■名称	■TEL
丸善交通	0765−72−0203
入善タクシー	0765−72−1141
入善駅（あいの風とやま鉄道）	076−444−1300
入善観光案内所（入善町観光物産協会）	0765−72−0330
JR黒部宇奈月温泉駅	0765−57−3581
富山きときと空港	076−495−3100